

お読みください

Fiery Color Profiler Suite を使用した Fiery プリントコントローラー用カスタム出力プロファイルの作成：システム 10 以降

本書では、Fiery プリントコントローラー用のカスタム出力プロファイルを、Fiery Color Profiler Suite を使用して作成する手順について説明します。この手順では、Command WorkStation で実行されるカスタムキャリブレーション設定の作成などの作業も行います。

本書の情報は、v4.0 以降の Fiery Color Profiler Suite で有効です。

Fiery プリントコントローラーには、工場出荷時設定の出力プロファイルが 1 つ以上付属しています。推奨された用紙と印刷設定を用いて印刷する場合、工場出荷時設定の出力プロファイルとこれらに関連するキャリブレーション設定を使用することで、カラー品質は妥当なものになる場合があります。ただし、別の種類の用紙で印刷する場合や特定のプリンターで最良の結果を得るには、カスタムキャリブレーション設定やカスタム出力プロファイルを作成することが成功する事例となります。本書では、カスタムキャリブレーションセット（お使いの Fiery プリントコントローラーがこの機能をサポートしている場合）とカスタム出力プロファイルの作成方法について説明します。

Fiery プリントコントローラーでキャリブレーションを行うには、各出力プロファイルはキャリブレーションターゲット（目標）とキャリブレーション設定に関連付けられている必要があります。Fiery プリントコントローラーは、測定の際にキャリブレーションターゲットを使用し、印刷色を一定に保つために必要な調整をキャリブレーション設定から判断します。Fiery プリントコントローラーでのキャリブレーションの詳細については、Fiery プリントコントローラー付属の説明書の一部である『カラー印刷』を参照してください。

Fiery プリントコントローラーのシステムソフトウェア

カスタムキャリブレーション設定とカスタム出力プロファイルを作成する方法は、Fiery プリントコントローラーのシステムソフトウェアバージョンにより異なります。システム 10 以前のバージョンでは、キャリブレーションターゲットは出力プロファイルに含まれるため、カスタム出力プロファイルに適切なキャリブレーションターゲットが設定されていることを確認する必要があります。システム 10 以降の Fiery プリントコントローラーソフトウェアでは、キャリブレーションターゲットは出力プロファイルとは別に、Command WorkStation で作成します。

ソフトウェアバージョンがシステム 10 以降の Fiery プリントコントローラーでは、本書の手順を使用してください。



はじめに

プリンターは正常に使用できる状態であることを確認します。

プリンターのキャリブレーションがサポートされている場合、プリンターをキャリブレートします。プリンターのキャリブレーションの詳細については、プリンター付属の説明書を参照してください。

シェーディング補正やグラデーション調整など、プリンターを準備するために推奨される手順をすべて実行します。

コンピューターに、最新の Command WorkStation と Color Profiler Suite がインストールされていることを確認します。

プロファイルを設定するのに十分な数の用紙（100 枚以上）を用意します。最良の結果を得るには、A3、タブロイドやさらに大きな用紙サイズを使用してください。

用紙をプリンターにセットします。通常の印刷ワークフローに Paper Catalog で用紙を選択する手順がある場合は、その用紙に対して Paper Catalog エントリを設定してください。

カスタムキャリブレーション設定とプロファイルの作成

システム 10 以降の Fiery プリントコントローラーソフトウェアでは、まずカスタムキャリブレーション設定を、Command WorkStation の Calibrator で作成します。Calibrator で、Printer Profiler（Color Profiler Suite の一部）を起動して、カスタム出力プロファイルを作成することができます。

メモ： カスタムキャリブレーション設定を作成するには、Command WorkStation にシステム管理者の権限が必要です。

カスタムキャリブレーション設定とカスタム出力プロファイルを作成するには

- 1 **プロファイルを設定する用紙を使用して、プリンターの準備を整えます。**
プリンターの準備を整える良い方法は、かなりの量のすべてのトナーを必要とするジョブを 20 枚以上印刷することです。
- 2 **Command WorkStation で、「デバイスセンター」> 「一般」> 「ツール」に移動し、「キャリブレート」で「設定」をクリックします。**
- 3 **「キャリブレーション測定方法」で、ES-1000 を選択します。**
この選択では、ES-1000 または ES-2000 分光光度計を使用することができます。
- 4 **「キャリブレーションパッチレイアウト」で、レターまたは A4 用紙には 21 ソート済みパッチを、タブロイドまたは A3 用紙には 34 ソート済みパッチを選択します。**
- 5 **「Fiery Color Profiler Suite - Printer Profiler」で、プロファイルを新規に作成する際に使用するプロファイリング測定方法とパッチレイアウトを選択します。**
928 パッチ以上のパッチレイアウトを選択します。

- 6 「設定」をクリックして、選択した測定方法での測定器の設定を表示または変更し、「OK」をクリックします。

ES-2000 と ES-1000 設定の詳細については、『EFI ES-2000 分光光度計セットアップガイド』を参照してください。

- 7 「保存」をクリックします。

- 8 「デバイスセンター」> 「一般」> 「ツール」に移動し、「キャリブレート」で「管理」をクリックします。

Fiery プリントコントローラーに存在するキャリブレーション設定の一覧が表示されます。

- 9 「新規作成」をクリックし、いずれかのキャリブレーション設定を選択し、「OK」をクリックします。

使用する用紙に最も近いキャリブレーション設定を選択します。使用する用紙に適したキャリブレーション設定が存在しない場合は、「サーバーのデフォルト」を選択します。

- 10 キャリブレーション設定の新しい名前を入力します。

用紙名、重さ、種類に加えて、特定の印刷条件（ハーフトーンやグロス設定など）を説明する名前を使用します。

- 11 「推奨用紙」に、用紙の名前を入力します。「用紙再注文番号」に、用紙の製品 ID 番号を入力します。

この情報は通常、用紙のパッケージに記載されています。

- 12 「コメント」フィールドに、その他に必要な情報を入力します。

ここには、追加となる情報が入力できます。この情報は、Fiery プリントコントローラーで使用できるキャリブレーション設定の一覧に表示されます。

- 13 キャリブレーションに関連するプロパティ（印刷設定）の一覧を確認します。

印刷設定を変更するには、「プロパティ」をクリックし、変更を行なったら、「OK」をクリックします。

画面設定やその他の印刷設定は、このキャリブレーション設定に特有のものです。最良の結果を得るには、使用する印刷設定の組み合わせごとに別のキャリブレーション設定を使用してください。

メモ：「ジョブプロパティ」ウィンドウの「カラー」タブでの設定は、キャリブレーションページの印刷時には適用されません。印刷設定の多くは、キャリブレーションには一切影響しません。ただし、画像品質に影響する印刷設定（ハーフトーン画面や解像度など）は、キャリブレーションに影響を及ぼします。

キャリブレーションページの測定を妨げることになる設定（仕上げオプションなど）は選択しないでください。

- 14 「続ける」をクリックします。

15 キャリブレーションページ印刷用の「給紙トレイ」を選択します。

正しい用紙がセットされていることを確認してください。

可能ならば、コピー枚数を 15 に設定します。印刷された最終ページの 1 つ前のページのみを測定します。コピー枚数を増やせば、プリンターの準備はさらに整います。

16 「続ける」をクリックしてキャリブレーションページを印刷し、次のステップに進みます。

17 画面上の指示に従い、キャリブレーションページを測定します。

測定が完了したら、キャリブレーション設定が新規に作成されます。ジョブの印刷時に使用するには、キャリブレーション設定は出力プロファイルと関連付けられている必要があります。

18 キャリブレーション測定値を確認するには、「測定値の表示」をクリックし、カラーごとに「測定対ターゲット」の D-Max を比較します。

測定した D-Max がターゲット D-Max の 90% 未満の場合、プリンターには修理が必要になる場合があります。

19 「OK」をクリックし、使用する用紙に最も近い出力プロファイルを選択します。

選択したプロファイルのプロファイル設定は、新しいカスタムプロファイルで使用されます。

20 「プロファイルの新規作成」をクリックして、Fiery Color Profiler Suite でカスタム出力プロファイルを新規に作成します。

プロファイリング測定ページが、「設定」で指定した設定（プロファイリング方法やパッチレイアウト）で印刷されます。Fiery Color Profiler Suite の Printer Profiler を使用してページを測定します。できあがったプロファイルは Fiery プリントコントローラーにインポートされ、新しいキャリブレーション設定と関連付けられます。

メモ： 効率化されたワークフローでは、使用できない Printer Profiler の機能もあります。測定平均化などの高度なプロファイリング機能を使用する場合は、「プロファイルの新規作成」はクリックしないでください。その代わりに、「OK」をクリックしてこの手順（ステップ 19 で選択したプロファイルのコピーの作成）を終了したら、Fiery Color Profiler Suite を使用してプロファイルを新規に作成します。

21 画面上の指示に従い、測定ページを測定し、「次へ」をクリックします。

22 「サマリー」画面で、「平均測定変動」と「最大測定変動」を確認します。

平均値が 5 dE 以下であることを確認します。最大値が 8 dE 以下であることを確認します。

23 「完了」をクリックします。

プロファイルは Fiery コントローラーにインストールされます。新しいキャリブレーション設定がキャリブレーション設定の一覧に追加され、新しい出力プロファイルと関連付けられます。